



# 令和小だより

## 子どもの育て手

令和5年7月号  
発行 令和5年7月3日  
中野区立令和小学校  
校長 松井 敏

校長 松井 敏

20年近く前のことです。ある保幼小連携の講演会で、子育てにまつわる「三つ子の魂百まで」という諺（ことわざ）の意味を伺いました。それは、「ご存じのように『三つ子の魂百まで』という諺の意味は、『幼いころに培った性格はどんなに年をとっても大きくは変わらない』ということです。幼少時、3歳ぐらいまでが人間にとって、その性格の土台となるととても重要な時期です。なので、この3歳までの生育環境が、後々大きな影響を与えますから、どうぞ今、現在のお子様とのかかわりを大切になさってください。」という内容でした。

その時、大いに共感すると同時に、自分の子どもがもう既に小学校中学年でしたから、「自分は、これまで、そうは意識せず、あまり手をかけてこなかったな。じゃあ、どうやって接していったらいいだろう。」とも考えていました。

そんな折、お世話になっていた大先輩のお話を伺う機会もありました。「確かに『三つ子の魂百まで』というように幼少期の育ちはとても大切です。その重要性を分かった上で、『育て手』のことを考えなければなりません。子どもにとっての『育て手』の一番はまず親や家族、地域の人という周りの大人。さらに、大人には、保育園や幼稚園、小学校の先生が加わってきます。そして、学校に通い始めれば、だんだんと増えてくる友達の存在も欠かせないでしょう。友達とけんかしたり、もめたり、助け合ったり、分かり合ったり、そんなかかわりも大切です。けれども、最も大切な存在を忘れてはいけません。それは、『自分自身』で

す。最終的に、様々な周囲の人とのかかわりを作り出すのは自分です。ですから、『自分で自分を育てる』ことこそ大切なのです。大人になった時の、『自分の最大の育て手は自分自身』です。小学校時代、特に小学校高学年からは、この『自分で自分を育てる』ことを中学校に向けて繋げていく大切な時期です。そんなかかわりを大切にしたらどうですか。」

このお話を伺い、自分の我が子へのかかわりを改めて考え直したことを今でも覚えています。将来、個々各々違っていても「自分で自分を育てる」であろう子どもたちのために、周囲の大人が、各々の立場でできることを共に考え、大切にしていきたいです。

この大先輩は6月の「令和ハートフルデー」でご講演いただいた荻原武雄先生です。7月号3面でも取り上げています。意見交換会には70名以上の保護者、地域の方のご参加がありました。大変参考になる感想もたくさんいただきました。ありがとうございます。

○親と学校（教師）と子ども自身が両輪になり、子どもの成長をサポートしていくことの重要性、子どもを待つことの重要性、道徳は時間をかけてゆっくりしていくことが大事であるという点。子どもの話を「聞く」ではなく「聴く」ことなど、大切な話だった。

～みんなで育てる令和の子～

○日々の生活に流され、いい加減になっていた人とのかかわり方を改めて大切にしなければと実感するいいお話でした。とにもかくにもまず親子の間で「待つ、聴く、受け止める」を肝に銘じ、向き合っていきたいと思いました。

## 1, 2年生 遠足

5月19日(金)に、1・2年生で平和の森公園に遠足へ行きました。生活科の学習では、2年生が1年生に学校を紹介したり、遠足のオリエンテーションでは、グループのめあてを一緒に確認したりと、学年間の交流を通して、仲を深めながら今回の遠足に臨みました。

平和の森公園では、1・2年合同の班でオリエンティングをし、様々なミッションに取り組みました。2年生は1年生に声を掛けたり、手を繋いであげたりと、グループみんなで楽しく活動ができるように、1年生をリードしていました。全部で8つのミッションがあり、汗びっしょりになりながらクリアしていました。

天候の心配からお昼は学校へ戻ってから、体育館で食べました。仲良くなった班のメンバーと食べるお弁当は格別でした。これからもいろいろな活動を一緒にし、仲良くしていけたらいいと思います。

## こだま学級 宿泊学習

5月30日(火)～6月1日(木)の3日間、こだま学級の3～6年生で高尾宿泊学習に行ってきました。保護者のみなさんや先生方、低学年が作った「いってらっしゃい」のメッセージに見送られ、最初に向かったのは高尾山です。前日の雨で山道がぬかるんでいたため、全員でケーブルカーに乗り、舗装された1号路を歩いて山頂まで上りました。1時間ほどかけて上った山頂からは、東京の町を一望することができました。2日目は、相模川ふれあい科学館で魚の餌やりをした後、あいかわ公園で遊びました。心配していた天気は、ちょうどよい曇り空。子どもたちが一番楽しみにしていた遊具遊びの時間を満喫することができました。3日目は、藤野芸術の家で絵付け体験をし、コニカミノルタサイエンスドームでプラネタリウムを鑑賞しました。最後の活動を終えた後は、「これで宿泊が終わっちゃう…」と残念がる声も。子どもたちにとって、充実した3日間となったようです。さまざまな活動や友達との集団生活を通して、ひと回りもふた回りも大きく成長することができました。

## バイオリンコンサート

6月5、6日、昨年度に引き続きバイオリニスト式町水晶さんをお招きし、「バイオリン演奏とお話の会」が行われました。式町さんは障がいを抱えながらポップジャズ・バイオリニストとしてご活躍中で、2021年の東京パラリンピックの閉会式でも演奏をされました。

「思いやりと親切、やさしさ」について、式町さんの経験談を交えて話をしてくださいました。コンサートの終わりには、令和小学校の校歌を演奏してくださいました。人も自分も大切にしてほしいというメッセージとともに素敵な音色に耳を傾けた時間でした。

## 令和ハートフルデー（道徳授業地区公開講座）

6月10日（土）に令和ハートフルデー（東京都道徳授業地区公開講座）を実施しました。令和ハートフルデーは、道徳授業公開や意見交換等を通して、学校、家庭及び地域社会が一体となって子どもたちの豊かな心を育む大切さを共有することを目的としています。

今年度は、本校の道徳教育の重点である「親切、思いやり」の内容項目で全学級道徳授業を行いました。「登場人物はどのような思いで、親切な行動をしたのだろう」「思いやりとは何だろう」「自分はどうだったかな」など、学級全体で話し合う姿をたくさん見ることができました。

また、講演会では「みんなで育てる令和の子」というテーマで元全国小学校道徳教育研究会会長の荻原武雄先生にご講演いただきました。70名近くの保護者や地域の方々に参加していただき、子どもの心を育むために大切なことを考える時間となりました。

## 6年生 オープンキャンパス

中野区では、保幼小中連携教育の一環として年3回のオープンキャンパスを実施しており、6年生が中学校で授業や部活動などの見学や体験を行っています。6年生にならないと関わりがないので毎年度末にお願いしている学校評価アンケートの「中学校との連携」で低評価をいただくこともあります。6年生にとっては中学校の雰囲気を知ったり進学への希望を膨らませたりする大切な機会となっています。

6月9日（金）に、その第1回目として6年生が第五中学校に行き、授業や部活動の見学をしました。各学年の授業や廊下に掲示された作品を見て、内容が難しくなることや作品の完成度の高さに驚いたり、全ての部活動を一通り見学して中学校生活に思いを馳せたりしていました。帰校後、緊張したけれど楽しかったという感想を漏らす児童がたくさんいました。

第2回は9月に五中で授業や部活動の体験、第3回は2月に各自の進学先中学校で説明会をする予定です。中学校の先生が小学校で授業をする「乗り入れ授業」も予定しています。6年生の子どもたちが希望をもち安心して中学校に進学できるよう、小中学校で連携して取り組んでいます。

## 体カテスト

5月29日から1ヶ月間、体力向上月間として体カテストを行いました。自己の体力に関心を持ち、体力増進のために能力を高めようとする態度を育てることをねらいとして、毎年東京都、中野区が実施する体カテストに取り組んでいます。

今年度は14日～16日の3日間を使って、「ソフトボール投げ」「長座体前屈」「反復横跳び」「上体起こし」「立ち幅跳び」の一斉測定を行いました。2～6年生は、前年度の自己記録を少しでも伸ばそうと、一生懸命取り組んでいました。また、1年生の測定は6年生が、2年生の測定は5年生が補助として手伝いました。高学年が優しく誘導したり、記録を伸ばすためのコツを教えたりする姿が印象的でした。

各種目の歴代学年最高記録は「令和小レコード」としてエントランスに掲示します。今年度の記録を振り返り、来年度さらに記録を伸ばせるよう、体育の授業に生かしていきます。

## 7月の生活指導 生活指導部 「友だちと仲よくしよう」

6月の土曜授業公開日に行われた「令和ハートフルデー」では、各学級で道徳の授業を行いました。道徳の指導内容は大きく4つに分けられており、その内の一つに「主として人との関わりに関すること」があります。これは、自分の周りにいる様々な人と望ましい人間関係を築いていくためにはどうすればよいかを考える内容です。「令和ハートフルデー」では、「主として人との関わりに関すること」の中から、相手に思いやりの気持ちをもって接することや、親切な行動を進んで行うことについて授業を行いました。

学校は、自分を含めたたくさんの人と共に生活している場です。子どもたち同士のけんかやトラブルは、いつでも、どの子にも起こり得ます。自分が望むように全てのことが運ぶ訳ではなく、嫌な気持ちになったり、イライラしたり、落ち込んだり、様々な気持ちを体験します。そうなった時に大切なのは、自分とは違う考えを認めたり、相手の気持ちや立場を思って折り合いを付けたりしながら、他者と共に生きていく力を身に付けることではないでしょうか。

7月の生活目標は「友だちと仲よくしよう」です。一人一人が、どうしたら友だちと仲よく楽しく過ごすことができるか考えながら行動できるよう、道徳の授業を初め、様々な場で指導していきます。

### 前期個人面談と通知表

前期の通知表の所見を総合所見にまとめてお伝えすることにしました。道徳、総合的な学習の時間、外国語活動については顕著なものがあれば、総合所見で取り上げます。同時に前期の個人面談を20分間に伸ばし、子どもの具体的な学習成果物等を活用して実施します。

### いじめ防止基本方針

6月のふれあい月間はいじめ防止月間でもあり、「学校生活のアンケート」も実施し、特にいじめ防止、撲滅に努めてきました。本校の「いじめ防止基本方針」はホームページに載せています。学校、家庭両者でいじめ防止、撲滅を進めましょう。

日	曜	
1	土	
2	日	
3	月	クラブ活動④ 安全指導
4	火	こだま個人面談①
5	水	特別時程 4時間授業
6	木	委員会紹介集会① こだま個人面談② 軽井沢前日検診(5年)
7	金	こだま個人面談③
8	土	土曜授業公開日 特別時程
9	日	
10	月	軽井沢移動教室1日目(5年) こだま個人面談④
11	火	軽井沢移動教室2日目(5年)
12	水	軽井沢移動教室3日目(5年) 児童集会
13	木	プラネタリウム見学(4年)
14	金	たてわり班活動 避難訓練④
15	土	
16	日	
17	月	海の日
18	火	委員会活動⑤ セーフティ教室
19	水	4時間授業 校内研究授業②(2-3のみ5時間授業)
20	木	給食終 水曜時程
21	金	夏季休業日始
22	土	
23	日	
24	月	夏季水泳指導日 個人面談 夏季補充学習教室
25	火	夏季水泳指導日 個人面談 夏季補充学習教室
26	水	夏季水泳指導日 個人面談 夏季補充学習教室 図書館開放日
27	木	夏季水泳指導日 個人面談 夏季補充学習教室 図書館開放日
28	金	夏季水泳指導日 個人面談 夏季補充学習教室 図書館開放日
29	土	
30	日	
31	月	夏季水泳指導日 個人面談 夏季補充学習教室 図書館開放日

※区の連絡等により、変更する場合があります。